

新型コロナワクチン 3回目接種を開始します

☎市ワクチン接種専用ダイヤル ☎0570-0567-02
(平日9時～17時 土日曜・祝日10時～15時)

2回目を接種した18歳以上の市民のうち希望する全ての人を対象に、新型コロナワクチンの追加接種(3回目接種)を実施します。接種回数は1回で、接種費用はかかりません(全額公費)。

12月から、まず医療従事者の接種を開始し、一般の市民への接種は1月以降から開始予定です。12月の接種対象者には、11月下旬に接種券付きの予診票を送付しました。1月以降の接種対象者へは順次送付します。接種方法や予約開始時期など詳しくは決定次第お知らせします。

なお、2回目の接種を他の市町村から交付された接種券で接種し、その後本市に転入した人は追加接種に必要な接種券付き予診票の発行手続きが必要です。該当の人は市ワクチン接種専用ダイヤルへ問い合わせてください。

接種時期=2回目の接種を完了してから、8カ月以上経過後

● ワクチン接種は強制(義務)ではありません

接種を受ける人の同意がある場合に限り接種をします。予防接種による感染症予防の効果と副反応リスクの両方を理解した上で接種してください。なお、職場や周りの人などに接種を強制したり、接種を受けていない人に差別的な扱いをしたりすることのないようお願いいたします。

● ワクチンの感染症予防の効果

新型コロナウイルス感染症の発症を予防、また、感染や重症化を予防する効果が確認されています。

● 副反応の症状

発症割合	症状
50%以上	接種部位の痛み、疲労、頭痛
10～50%	筋肉痛、悪寒、関節痛、下痢、発熱、接種部位の腫れ
1～10%	吐き気、嘔吐

まれな頻度でアナフィラキシー(急性のアレルギー反応)が発生することが報告されています。また、ごくまれな頻度で心筋炎や心膜炎を疑う事例が報告されています。



ワクチンの種類=ファイザー社製ワクチン

※当面の間は薬事承認されたファイザー社製ワクチンを使用します。

〈1・2回目の接種を希望する人〉

12月に接種できる会場は、集団接種会場(総合福祉会館)のみです。

接種期間=12月3日(金)～26日(日)の金土日曜(金土曜は午後のみ)

予約方法=市ワクチン接種専用ダイヤルか市ワクチン接種予約サイトで



市ワクチン接種予約サイト
(24時間受付)



最新のワクチン予約枠の
空き状況はこちらから



最新の接種や
ワクチン情報ははこちらから

● 予防接種健康被害救済制度

万が一、予防接種による健康被害が生じた場合は、予防接種法に基づく救済を受けられる場合があります。詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください。



ごみ出しのルールを再確認 ルール違反ごみが増えています

例年、年末はルール違反ごみが増加傾向。ルール違反ごみには赤い貼り紙で注意がしてあるので、一度持ち帰りルールに合わせて分別後、次の収集日に再度出してください。

また、事業所ごみは少量であっても絶対に出さないのでください。廃棄物処理法や条例の違反となります。



分別をせず指定袋に入っていないため、回収できずカラスや小動物に荒らされたごみ集積場所



事業所から排出されたとみられる産業廃棄物



市では処分できないルール違反ごみ

多発する発火事故を減らすために 正しい分別に協力を

分別に迷ったときは、ごみカレンダーや本市ホームページの「家庭ごみ分別検索」などを活用するほか、ごみ減量課へ問い合わせてください。



ここ数年、充電式電池(リチウムイオン電池など)やスプレー缶、ライターが不燃ごみや可燃ごみに混ざって排出されるケースが増加。これらは、清掃工場やごみ収集車での発火事故の原因になります。昨年度、荻窪清掃工場では222件もの発火事故が発生しました。ごみ収集車での火災も、清掃員の命を脅かす深刻な事態です。

充電式電池を廃棄するときは、リサイクル協力店に出してください。ごみ集積場所には出せません。スプレー缶とライターは危険・有害ごみの日に排出してください。



充電式電池にはこのようなマークがあります。



ごみ収集車の火災現場



火災の原因とみられる充電式電池

ごみ分別アプリ「さんあ〜る」も便利なお勧めします。「今日は資源ごみの日です」といった通知が届くので、ごみカレンダーを見るより便利です!

ダウンロードは
こちらから



ごみ減量課 窪田 宗一郎